

代表者名	大井永吉	所管部課名	建設交通部 建設交通政策課
所在地	矢島町七日町字羽坂2 1番地2	設立年月日	昭和59年10月31日

【沿革、及び、県の出資理由】

国鉄改革に伴い矢島線は廃止対象路線に選定されたが沿線住民の重要な交通手段であることから、県と関係市町が主体となり存続することで合意され、それぞれの出資により昭和59年10月31日会社を設立した。

【出資者】(13年度末)

(百万円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	38.5	38.5
市町村	4	38.5	38.5
その他	14	23.0	23.0
計	19	100.0	100.0

【事業】

主たる業務

鳥海山ろく線の経営

事業実績

(百万円、人)

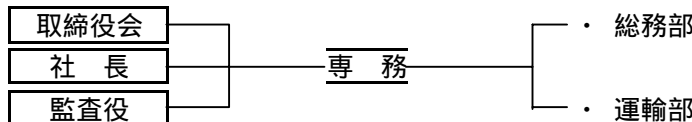
事業名等	11年度	12年度	13年度
旅客運輸収入	108	106	97
輸送人員	476,636	460,496	422,781

13年度事業概要、及び、14年度事業計画・目標

平成13年度は、前年度購入しました新車両により、団体貸切しているほか、「特産品まつり」、「天寿酒蔵開放」などの各種イベントの他に新たに運営促進連絡協議会主催の「鳥海山ろくおぼくハイク」を実施するなど誘客に努めております。  
平成14年度も引き続き利用促進とコスト削減に努力してまいります。

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県OB		
非常勤	6	2
内、県OB		
内、県職員	1	
計	7	2
内、県関係者		

職員数

(人)

	人数	備考
正職員	17	正職員平均年齢 46歳
内、県OB		
出向職員	7	
内、県職員		
臨時・嘱託	1	正職員平均勤続年数 9年
内、県OB		
計	25	
内、県関係者		

【財務】

損益状況(13年度)

(百万円)

	金額
経常収入 A	107
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	107
運用益収入	
その他	
経常支出 B	186
人件費	100
その他	86
経常損益 C = A - B	-79
経常外収入	268
経常外支出	181
当期損益	8

財務状況(13年度末)

(百万円、%)

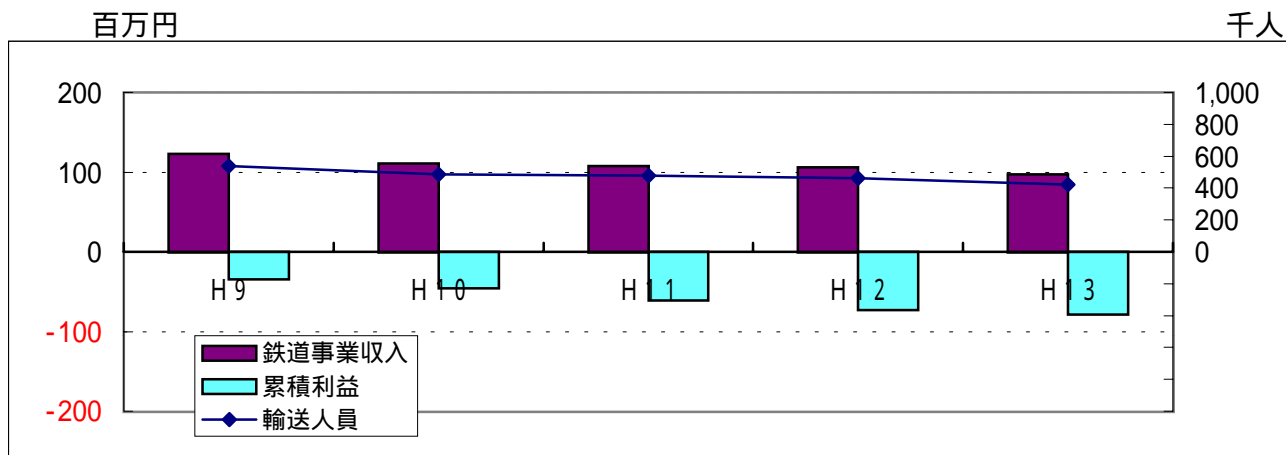
	金額	構成比
流動資産	30	17.6
固定資産	140	82.4
資産計	170	100.0
流動負債	61	35.9
短期借入金	44	25.9
固定負債	53	31.2
長期借入金	52	30.6
引当金等	20	11.8
負債計	134	78.8
資本金	100	58.8
剰余金	-64	-37.6
資本計	35	20.6
負債・資本計	170	100.0

【県の財政支出】

(千円)

	11年度	12年度	13年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	42,397	56,849	133,828	鉄道近代化設備整備補助金・地方鉄道運営費補助金・踏切改良工事
委託費				
貸付残高				

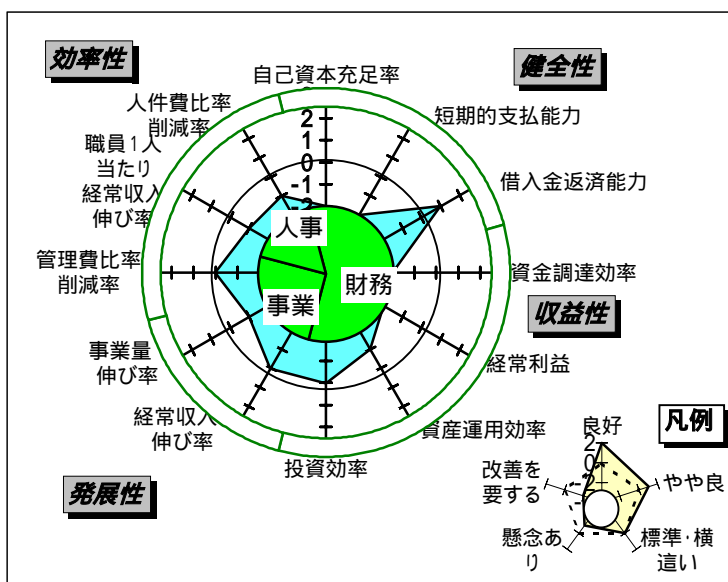
【事業等の推移】(過去5年度)



【諸比率等】(13年度)

自己資本比率	20.85 %
流動比率	49.06 %
借入金返済年数	4.28 年
支払利息比率	1.86 %
経常利益率	-73.38 %
総資本回転率	0.63 回
総資本利益率	-46.26 %
経常収入額	107,268 千円
事業量(輸送人員)	422,781 人
管理費比率	20.75 %
職員1人当り経常収入額	4,291 千円
人件費比率	93.15 %

【各評価項目レーダーチャート】



【経営概況、経営上の課題・問題点等】

平成13年度は、新車両を団体貸切に積極的に活用するなど、収入増に努めてまいりましたが、沿線人口の減少、少子化の進行に加え、景気低迷の影響を受けて、収入全体でも前年度水準に達することができませんでした。また、「節減は1人ひとりの心がけ」の標語によりコスト削減に取り組んだものの費用が増加し、経常損失も前年度を上回る結果となりました。今後は、誘客を目的とした各種イベントを実施し増客に努めるとともに、いっそうの経費の削減を行い、経営改善を図ってまいります。

【経営評価】

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
長期的な経営見通しを踏まえ、将来のあり方について住民や関係者と十分に検討する必要がある。	